

環境活動レポート

2014年度版

(2014年1月から2014年12月まで)



株式会社 アサヒリソース

発行 2015年 3月31日

改定 2015年10月12日

①組織の概要

1. 商号 株式会社 アサヒリソース

代表者	代表取締役	藤田 幸男
役員	専務取締役	安藤 哲也
役員	取締役	宮川 一喜

2. 所在地 本社： 〒239-0316
神奈川県横須賀市久里浜2丁目25番9-405号
(本社登録のみ：業務に使用せず)

津久井事業所： 〒239-0843
神奈川県横須賀市津久井2丁目1002番

敷地	コンクリート床	<u>330.57 m²</u>
	アルミ定置型坩堝炉	<u>4.06 m³</u>
	液物タンク 危険物(灯油)	<u>0.225 m³</u>

3. 設立 平成 元年 5月 15日

4. 資本金 540万円

5. 従業員数 7名

6. 施設の概要

1) 車 両

普通貨物	自家用	ロ ン グ	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
小型貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	3,000 kg	運搬品目	別記
普通特殊	自家用	塵 芥 車	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	事業用	バ ン	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
軽貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	350 kg	運搬品目	別記
軽貨物	自家用	キャブオーバ	最大積載量	350 kg	運搬品目	別記
小型特殊	自家用	フォークリフト	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
小型特殊	自家用	フォークリフト	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記

2) 施 設

軽合金坩堝炉	炉形式	S E P-200
30 トンプレス機	形 式	S N P-30
8 トンプレス機	形 式	5 0 - 5 0 0
2 軸 破 碎 機	形 式	V 6-228 K

環境保全対策

収集運搬容器は飛散・流出しないよう密閉ドラム及びポリタンクを使用
 ロープ・シート・ネットの使用により固形廃棄物の散乱に対処
 悪臭・振動・騒音など生活環境保全上支障がないような措置を行う

7. 運搬品目及び取扱処理量

平成26年

1月～12月

行政資源回収	
新聞	796,740 kg
段ボール	288,390 kg
雑誌	508,960 kg
ボロ	177,405 kg
一升瓶	14 kg
ビール瓶	8 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	6,187 kg
鉄	66,380 kg

産業廃棄物	
混合	11,945 kg
紙くず	5,790 kg
廃プラスチック	3,760 m ³
がれき	0 kg
金属くず	7,550 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	0 kg
容器包装	0 kg
不燃ごみ	0 kg
紙類※	6,000 kg
金属類※	2,400 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

8. 許可の内容

1) 産業廃棄物収集運搬業

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
神奈川県	1401110402	平成24年10月23日	平成31年9月2日

・事業の範囲 事業の区分

収集運搬(積替・保管を除く)

・産業廃棄物の種類

廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類

※営業の範囲は、横須賀市を除く神奈川県の区域。

※取り扱う産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物であるものを除く。

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
横須賀市	第05810110402号	平成24年5月15日	平成29年5月14日

・事業の範囲 事業の区分

積み替え又は保管を含む

保管面積	保管上限	高さ
8.89㎡	15.80m ³	2.40m

・産業廃棄物の種類

廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)

2) 一般廃棄物収集運搬業

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
横須賀市	第60号	平成26年6月15日	平成28年6月14日

・事業の範囲 事業の区分

積み替え又は保管を除く

・廃棄物の種類

一般廃棄物(ごみ)

9. 決算売上高 年1回 12月31日

2012年度 60,966千円

2013年度 64,237千円

2014年度 66,620千円

10. 収集運搬料金

基本料金 450袋 1枚 700円

量、距離、種類によりますので、お問い合わせください。

046-847-1366 営業担当：宮川

11. 環境管理責任者 総責任者 安藤 哲也
管理責任者 宮川 一喜

株式会社アサヒリソース 組織図

平成27年3月30日

代表取締役
藤田 幸男

専務取締役(総務担当)	環境目標及び活動計画の策定 環境活動レポートの作成 環境関連法規等の遵守評価
環境管理総責任者 安藤 哲也	

事務局(苦情受付窓口) 小野 南	管理責任者の補佐業務 環境文章及び記録の作成・管理
---------------------	------------------------------

第一事業部
一般・産業廃棄物収集運搬事業
廃家電収集運搬事業
宮川 一喜
坂田 直一
環境担当者
宮川 一喜
使用車両
3トンドンプ
2トンバントラック

第二事業部
海外輸出関連事業
アルミ熔解事業
宮川 一喜
龍華 健人
環境担当者
龍華 健人
使用車両
軽ダンプ

第三事業部
横須賀市町内会資源回収事業
横須賀市資源回収協同組合事業
藤田 幸男
環境担当者
藤田 幸男
使用車両
2トンパッカー 2トンロング
2トンドンプ
軽トラック

②認証対象範囲

1) 業務範囲

廃棄物収集運搬並びにアルミニウムインゴットの製造

2) 対象事業拠点

津久井事業所 横須賀市津久井2-1002

③環境方針

株式会社アサヒリソース 環境方針

基本理念

株式会社アサヒリソースは、当社の基幹業務である産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬・古紙・鉄・非鉄金属リサイクルを通じて限りある天然資源の再資源化を目指すことによって、次世代に豊かで美しい地球を残すため地球環境保護に貢献いたします。

環境方針

- (1) 環境マネジメントシステムの構築と改善に取り組みます。
- (2) 環境関連の法令、条例、その他の要求事項を順守し、環境保護に取り組みます。
- (3) 事業活動において、扱う廃棄物の100%資源化を目指します。
- (4) 業務全般において省エネルギー及び地球温暖化物質などの排出削減に努め、汚染の予防を推進します。
- (5) 環境教育を通して社員の環境意識の向上を図り、全員が環境活動に取り組みます。

※環境方針は文書化し全社員に周知徹底するとともに、定期的に見直すと同時にホームページ等により社外に広く公開します。

2010年8月1日

株式会社アサヒリソース

代表取締役 藤田幸男



④環境目標

環境負荷項目		単位	2013 年度実績 (基準年)	2018 年度 中期目標	2014 年度 目標
地球温暖化	電力（一般）削減	kWh	7,864	2013 年度比同等 (±3%) 7,864 kWh	2013 年度比同等 (±3%) 7,864 kWh
	電力（動力）削減	kWh /百万円	403/64 百万円 =6.30 kWh/百万円	2013 年度売上高比 2%削減 6.17 kWh/百万円	2013 年度売上高比同等 (±3%) 6.30 kWh/百万円
	灯油削減	L/百万円	998/64 百万円 =15.60 L/百万円	2013 年度売上高比 2%削減 15.3 L/百万円	2013 年度売上高比同等 (±3%) 15.60 L/百万円
	ガソリン削減	L/百万円	2,342/64 百万円 =36.60 L/百万円	2013 年度売上高比 2%削減 35.8 L/百万円	2013 年度売上高比同等 (±3%) 36.60 L/百万円
	軽油削減	L/百万円	14,049/64 百万円 =219.5 L/百万円	2013 年度売上高比 2%削減 215 L/百万円	2013 年度売上高比同等 (±3%) 219.5 L/百万円
	二酸化炭素削減	t-co ₂ / 百万円	49.29/64 百万円 =0.757 t/百万円	2013 年度売上高比 2%削減 94.23 L/百万円	2013 年度売上高比同等 (±3%) 0.757 t/百万円
水	水道使用量削減	m ³	43.30 m ³	2013 年度比同等 (±3%) 43.30 m³	2013 年度比同等 (±3%) 43.30 m³
一般廃棄物	自社が排出する一般廃棄物削減	Kg /百万円	31 kg	2013 年度比同等 (±3%) 31 kg	2013 年度比同等 (±3%) 31 kg
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚 /百万円	16,694/64 百万円 =261 枚/百万円	2013 年度売上高比 +5%以内 274 枚/百万円	2013 年度売上高比同等 (±3%) 261 枚/百万円
	グリーン購入の推進		—	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進

※購入電力の排出係数 0.000425 t-co₂/kwh(平成 19 年実績)

⑤環境活動計画

環境負荷項目		単位	2014 年度活動計画	担当	
地球温暖化	電力（一般）削減	kWh	昼休み時の事務所消灯の徹底	小野	
	電力（動力）削減	kWh/ 百万円	プレス機の稼働時間の把握による消費電力の割り出し	宮川	
	灯油削減	L/ 百万円	アルミ溶鉱炉のデータ把握・評価指標の検討、設定	宮川	
	ガソリン削減	L/ 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月各車両の燃費データを報告、目標値を設定 ・各自車両の燃費向上方法を習得する ・年1回エコ安全運転講習会の開催 	宮川	
	軽油削減	L/ 百万円		宮川	
	二酸化炭素削減	t-co ₂ / 百万円	上記活動によって削減		
水	水道使用量削減	m ³	洗車時の水の使用方法など節水意識の再確認、蛇口等の水漏れ点検	宮川	
廃棄物	自社が排出する廃棄物削減	一般廃棄物	kg/ 百万円	自社で発生した廃棄物の分別徹底の再確認をし自社リサイクルルートへ	宮川
		産業廃棄物			kg/ 百万円
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚/ 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷及び縮小印刷等の有効利用 ・使用済み紙は自社リサイクルルートへ ・メール利用率のアップ 	小野	
	グリーン購入の推進		コピー用紙及び文房具の購入	小野	
	非常事態訓練		2014 年 8 月頃実施	宮川	

⑥環境目標の実績

2010年1月から2010年12月までの同時期と比較して目標の4%削減が達成できた場合には○、目標の3%削減が出来なかった場合または環境活動計画で設定した目標を達成できなかった場合には×

環境負荷項目		単位	2013年度 実績(基準年)	2018年度 中期目標	2014年度 目標	2014年度 実績	結果
地球温暖化	電力(一般)削減	kWh	7,864 kWh	2013年度比同等 (±3%) 7,864 kWh	2013年度比同等 (±3%) 7,864 kWh	7,981 kWh	○
	電力(動力)削減	kWh/ 百万円	403/64 百万円 =6.30 kWh/百万円	2013年度売上高比 2%削減 6.17 kWh/百万円	2013年度売上高比 同等(±3%) 6.30 kWh/百万円	4.84 kWh/百万円	○
	灯油削減	L/ 百万円	998/64 百万円 =15.60 L/百万円	2013年度売上高比 2%削減 15.3 L/百万円	2013年度売上高比 同等(±3%) 15.60 L/百万円	26.6 L/百万円	×
	ガソリン削減	L/ 百万円	2,342/64 百万円 =36.60 L/百万円	2013年度売上高比 2%削減 35.8 L/百万円	2013年度売上高比 同等(±3%) 36.60 L/百万円	42.81L/百万円	×
	軽油削減	L/ 百万円	14,049/64 百万円 =219.5 L/百万円	2013年度売上高比 2%削減 215 L/百万円	2013年度売上高比 同等(±3%) 219.5 L/百万円	227.8 L/百万円	×
	二酸化炭素削減	t-CO ₂ / 百万円	49.29/64 百万円 =0.770 t/百万円	2013年度売上高比 2%削減 0.754 t/百万円	2013年度売上高比 同等(±3%) 0.770 t/百万円	0.83 t/百万円	×
水	水道削減	m ³	43.30 m ³	2013年度比同等 (±3%) 43.30 m³	2013年度比同等 (±3%) 43.30 m³	26.50 m ³	○
廃棄物	自社が排出する一般廃棄物削減	kg/ 百万円	2013年度比同等 (±3%) 31 kg	2013年度比同等 (±3%) 31 kg	2013年度比同等 (±3%) 31 kg	32	×
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚/ 百万円	16,694/64 百万円 =261 枚/百万円	2013年度売上高比 +5%以内 274 枚/百万円	2013年度売上高比 同等(±3%) 261 枚/百万円	210 枚/百万円	○
	グリーン購入の推進		—	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	グリーンマークを確認	○
非常事態訓練の実施				年1回実施	8月頃実施予定	8月2日実施	○

⑦環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

1. 環境活動計画の取組結果とその評価

- ・2014年1月から12月までの評価

2011年にエコアクションの認証・登録して4年目を迎え、事業の多角化も影響し、当初設置した基準値が実際にそぐわないものが増えてきている。

次年度以降は基準値の見直しに重点を置いていきたい。

- ・電力の一般使用料は、夏の猛暑によるエアコンの稼働時間の延長や新たに常夜灯の設置等で、昨年に比べて多少増加したものの、何とか目標をクリアできた。

次年度は、作業所の電灯のLED化や事務所の昼休み時間の消灯の徹底などに取り組んでいきたい。

- ・動力は目標をクリアしたのは売り上げに対して動力を使う作業の減少が原因であり、次年度は新たな動力機械の導入計画もあり注意深く見守りたい。

- ・灯油は主にアルミ熔解時の燃料となり、アルミインゴットの生産量と関係が深いですが、いまだデータに集約されておらず、基準の見直しを含め今後の課題とする。

- ・ガソリンは乗用車、軽自動車、1トン車があり、軽油はその他トラック類が消費しているが、作業内容が違うため同じ年間売り上げでくらべても相対評価しか得られず、実内容にそぐわない部分がある。今後は細部にわたる基準を設ける必要性を感じる。

- ・廃棄物に関しては、昨年作ったデータに基づいて取り組みを開始した。

- ・水の使用量、再生紙の使用等は今後も同様に取り組むこととする。

2. 次年度(2015年1月から12月まで)の取組内容

次年度においては、中期目標を2018年に設定し環境目標の単位を実態にあった目標値に改めることにします。

環境負荷項目		単位	2014年度実績 (基準年)	2018年度 中期目標	2015年度 単年度目標	
地球 温暖化	電力(一般)削減	kWh/ 百万円	124.7	2014年度比同等 (-3%) 121	2014年度比同等 (-1%) 123.5	
	電力(動力)削減	kWh/ 百万円	4.84	2014年度比同等 (-2%) 4.74	2014年度比同等 (-1%) 4.79	
	灯油削減	L/百万円	26.6	2014年度比同等 (-2%) 26.07	2014年度比同等 (-1%) 26.33	
	ガソリン削減	L/百万円	42.81	2014年度比同等 (-2%) 41.95	2014年度比同等 (-1%) 42.38	
	軽油削減	L/百万円	219.5	2014年度比同等 (-2%) 215.11	2014年度比同等 (-1%) 217.31	
	二酸化炭素削減	t-CO2/ 百万円	0.77	2014年度比同等 (-2%) 0.75	2014年度比同等 (-1%) 0.76	
水	水道使用量削減	m ³	26.5	2014年度比同等 (-3%) 25.71	2014年度比同等 (-1%) 26.24	
廃棄物	自社が排出する廃棄物削減	一般 廃棄物	kg	32	2014年度比同等 (-1%) 31.36	2014年度比同等 (-1%) 31.36
資源	コピー用紙の削減	枚/ 百万円	210	2014年度比同等 (-2%) 205.8	2014年度比同等 (-1%) 207.9	
	グリーン購入の推進	—	グリーンマーク を確認	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	
非常事態訓練の実施			1回/年 実施	1回/年 実施する	8月頃実施予定	

⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

見直し・改訂時		遵守確認・評価	
承認	作成	承認	評価
			

作成23年5月30日

見直し改定日27年3月30日

遵守状況27年3月30日

(株)アサヒリソース環境関連法規一覧

主な法規制	法律の内容	当社該当事項	管理部署 責任者	遵守状況確認
廃棄物処理法	自社発生廃棄物	自らの責任において処理する	藤田	○
	産業廃棄物収集運搬業	業許可申請・許可の更新期間5年	安藤	○
	一般廃棄物収集運搬業	業許可申請・許可の更新期間2年	安藤	○
	産業廃棄物管理票	保存期間5年	安藤	○
振動規制法・騒音規制法	指定地域内の工場等における事業活動や建設工事に伴う騒音(振動)を規制するため、騒音(振動)を発生させる特定施設の事前届出や建設作業の事前届出、規制基準の遵守等を定めている。	法の指定する指定地域内に当たらないため該当しない。	安藤	—
都道府県条例 NOx法	自動車の排気ガス中のNox及びPMの排出を抑制するため、対策地域内における一定規模以上の車両を使用する事業者のNox・PM排出抑制計画作成・提出、車種規制などを定めている。	該当なし	安藤	—
消防法・横須賀市火災予防条例	危険物の取扱・危険物保管施設等に関することを定めている。	アルミ熔解炉の設置許可申請	宮川	○
		少量危険物貯蔵・取扱者	宮川	○
家電リサイクル法	家電廃棄物の収集、再商品化を推進するため、家電の製造業者・輸入業者、小売業者、消費者の義務等を定めている。	リサイクル券の3年間保管義務	安藤	○

違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反及び訴訟は、設立から現在までありません。

外部からの苦情等の受付

現在までに排出事業者やお客様、その他第3者等からの苦情等は発生していません。収集運搬にあたり、近隣の皆様に騒音等で迷惑が掛からないように配慮しております。また、廃棄物の種類や量等がマニフェストと相違がないかチェックし、また運搬中に廃棄物の飛散流出等を起こさない方法で収集運搬に取り組んでいます。

化学物質の使用について

化学物質の使用はありません。

平成 27 年 3 月 31 日

担当 安藤哲也

⑨代表者による全体評価と見直しの結果

この1年は正確なデータの把握に主眼を置き務めてきましたが、産業廃棄物を取り巻く業態のめまぐるしい変化に対応する為新たな分別や処理方法を模索すると、過去のデータでは整合性が取れない事態も多々あり、目先のデータの収集ではなく弊社の根幹をなす事業における必須のデータは何か、という命題に突き当たります。この命題を解くためには、さらなる精進が必要だと感じられます。

今、日本でも地球温暖化を誘発するエネルギー源として、火力か原子力かという問題に揺れ動く中、弊社が担うリサイクル事業はその牽引的役割を成すものと自負しています。

今後は環境基準で求められるデータを収集把握することにとどまらず独自のデータの把握に取り組んでいきたいと思えます。

次回の環境活動レポートは2016年3月31日頃の発行を予定しています。

2015年3月30日

代表取締役 藤田幸男